



第13号 2009 March
平成21年3月



■発行／
長野県人権啓発センター
〒387-0007 千曲市屋代字清水260-6
TEL 026-274-2306 FAX 026-274-2309
長野県企画部人権・男女共同参画課
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
TEL 026-235-7106 FAX 026-235-7389
URL <http://www.pref.nagano.jp/>
E-mail jinken-danjo@pref.nagano.jp

一人ひとりの人権が尊重された社会のために

人権とは、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、だれにとっても身近で大切なものです。

しかし、人権というと、「難しい」「自分とは関係がない」と考えられてしまうことがあります。

人権を尊重することは、相手を思いやることにも通じます。自分の人権を守るとともに、他人の人権についても配慮することが大切です。



県では、県民の皆さまに人権を身近で大切なものと理解していただくため、さまざまな施策を進めています。

今号では、この中から広報啓発事業を中心に紹介します。



人権フェスティバル(p.2)



人権政策審議会・県民意識調査(p.3~4)



人権啓発デザインラッピングバス(p.5)



人権啓発センター(p.6)

人権フェスティバル

一人ひとりが互いの人権を尊重する共生社会の実現に向け、幅広く人権について考えるきっかけとし、関心を高めていただくことを目的に、平成20年11月28日に松本市で開催しました。

「一人ひとりの“ちがい”が尊重される社会へ」をテーマに、今回は障害者の人権にスポットをあてました。

開会行事に引き続き、^{まきみか}牧美花さんによるふれあいミニコンサートが行われました。牧さんは左手のハンディキャップを乗り越えて、バイオリニストとして活躍されており、演奏や曲の合間に語られたご自身の体験など、会場の方々はステージに引きつけられていました。



牧美花さん ふれあいミニコンサート

続いて、女優の^{まつしまともこ}松島トモ子さんによる「車椅子で Shall we dance?」と題した人権トークでは、車椅子ダンスなどご自身の体験談を話され、今後も障害者の方と力を合わせて踊っていきたいと結ばれました。

会場からは気さくで共感を覚えたといった声が聞かれました。

その後は、障害者を取り巻く環境について、司会者も含めた3人で歓談を行いました。障害ではなく個性であるといった考え方や、海外で誰もが自然に手助けをしてくれたといった体験談、少しずつでは

あるが障害者の方も住みやすい社会になってきているといった感想など、興味深く示唆に富んだエピソードが聞かれました。

このほか、ロビーでは世界人権宣言採択60周年を記念して法務省が制作した人権マンガパネルの展示も行われ、さまざまな形で人権感覚を高めました。



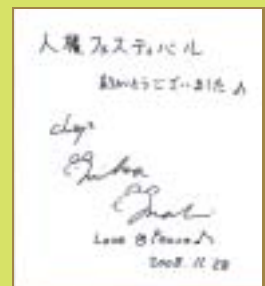
松島トモ子さん「車椅子でShall we dance?」



人権マンガパネル展示



松島さん、牧さんから記念に色紙をいただきました

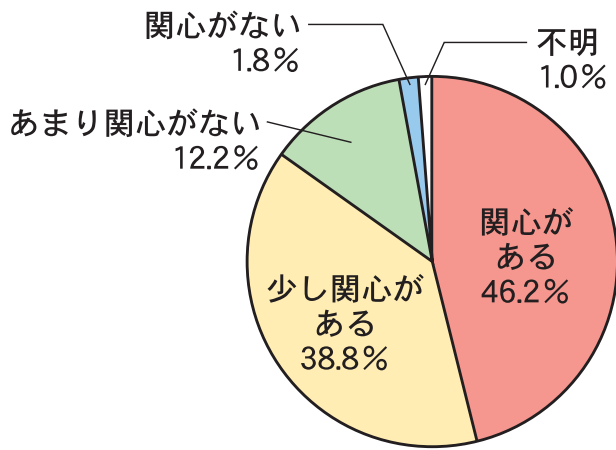


「人権に関する県民意識調査」結果について

人権政策の基本方針を策定するため、平成20年6月に県民の皆様を対象に人権に関するアンケート調査を実施しました。この調査結果は人権政策審議会の資料となりました。その調査結果の一部を紹介します。

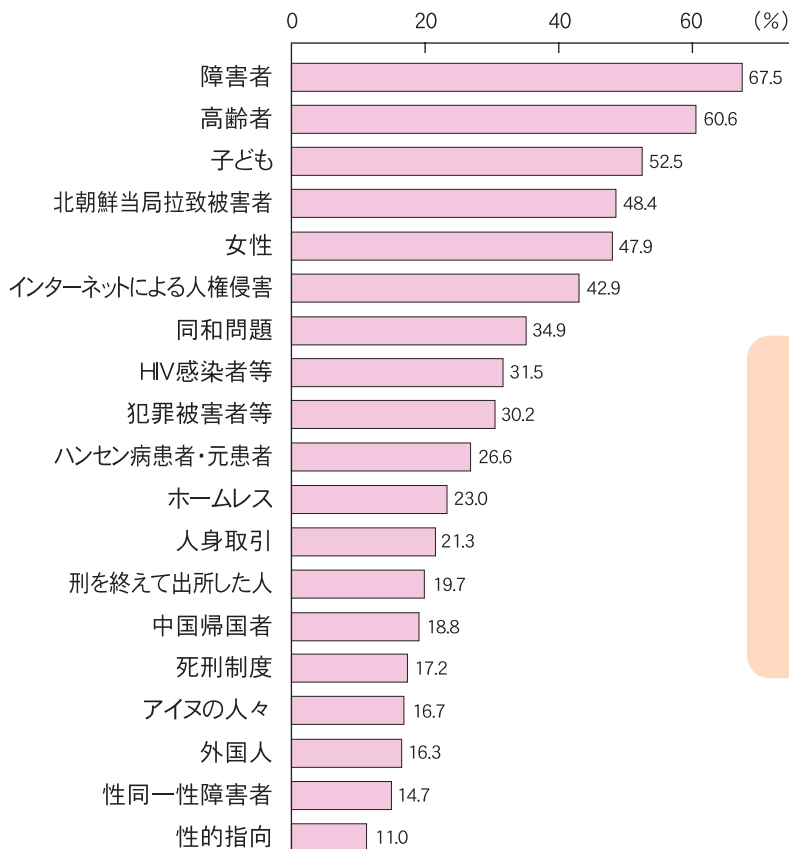
調査地域 長野県全域
 調査対象 満16歳以上の男女3,000人（層化二段無作為抽出）
 調査方法 郵送法調査
 回答率 50.6%

○ あなたは人権問題に関心を持っていますか？



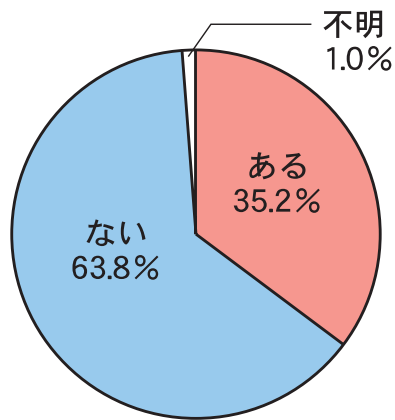
「ある」、「少しある」を合わせて85%の人が『関心がある』と回答しています。

○ 人権に関わる次のことごとらについて関心があるものはどれですか。（複数回答）



関心のある人権問題は、「障害者」が67.5%と最も高く、以下「高齢者」、「子ども」、「北朝鮮当局拉致被害者」、「女性」の順になりました。
 男女別では、「女性」、「高齢者」について、男性よりも女性の回答率が約1割高くなりました。

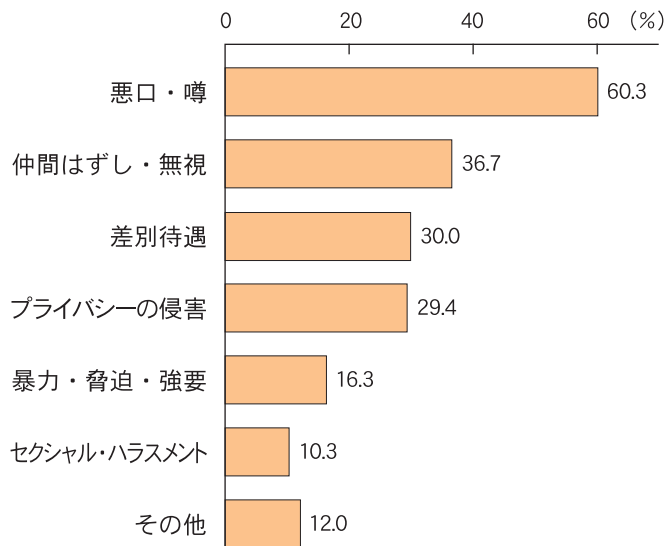
○ 今までに自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



およそ3人に1人が、人権を侵害されたと思ったことがあると回答しています。

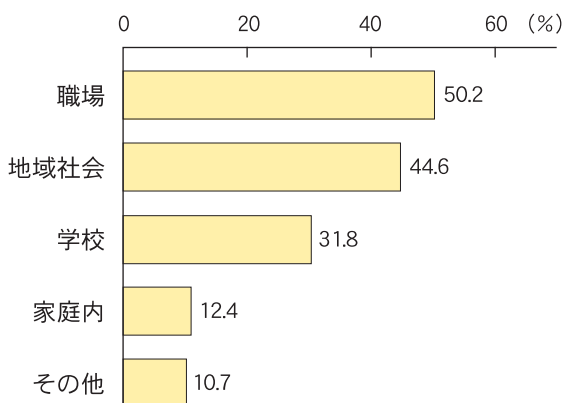
男女別では、女性は41%が「ある」と回答しているのに対し、男性は28%に留まっています。

◇ (上の問いで「ある」と回答した方) その人権侵害はどのようなものでしたか。(複数回答)



人権侵害の内容は、「悪口・噂」とした回答が60%と最も高く、以下「仲間はずし・無視」、「差別待遇」、「プライバシーの侵害」の順になりました。

◇ (上の問いで「ある」と回答した方) その人権侵害はどこでありましたか。(複数回答)



人権侵害を受けた場所は、「職場」、「地域社会」を挙げた回答がそれぞれ約半数ありました。

県では、平成20年度に人権政策審議会から答申をいただき、平成21年度に人権政策推進に係る基本方針を策定し、人権啓発などの取組を進めていきます。

人権啓発デザインラッピングバス

地域社会における人権啓発活動を効果的に行うため、路線バス車輻に小学生の描いた絵をデザインしたラッピングバスを平成20年度に初めて運行しました。

平成20年7月から長野市北部市街地において、「積み木」を基調としてデザインしたラッピングバスが運行されていますが、平成20年11月から長野市南部と松本市の市街地においてもラッピングバスが運行されています。

今回運行の始まったラッピングバスは、それぞれ長野市立昭和小学校と松本市立旭町小学校のみなさんが描いたイラストを基にデザインしています。

12月1日からの“ちがい”を愛する県民運動強調旬間に先立ち、11月25日には各小学校でイラストを描いた児童の他、法務省の人権イメージキャラクター「人KENまもるくん」「人KENあゆみちゃん」も応援にかけつけ、華やかに出発式を行いました。

友達との明るくいきいきとした学校生活での様子など、県民の皆さまに親しまれ、「お互いを思いやることの大切さ」について強いメッセージを送ることができるものと期待しています。

長野市立昭和小学校の出発式



運行を記念して、テープカットを行いました

イラストを描いてくれた6年生のみなさん



乗降のしやすいワンステップバスです

松本市立旭町小学校の出発式



「家族」「友達」「仲間」をテーマに絵を描いていただきました

記念として人KENまもるくん・人KENあゆみちゃんのぬいぐるみがプレゼントされました



イラストを描いてくれた3年生のみなさん

人権啓発センター利用のご案内

人権啓発センターは、皆さまの人権問題に対する理解を深め、自分自身の課題として人権問題を考えていただくための場です。

同和問題に関する歴史的資料をはじめ、生活の中に存在するさまざまな人権問題についての資料などを展示するとともに、人権啓発ビデオ・パネルの貸出しを行っています。



展示室

さまざまな人権問題に関する展示や立体映像装置（北信濃の春 6分）、人権問題に向き合ってきた方々の証言映像（18本、各3分）をご覧ください。

ビデオ・パネルの貸出し

人権啓発に係る啓発ビデオ200本、映画フィルム68巻、パネルセット2組（1セット22枚）の貸出しを行っています。

ご利用は無料ですが、送料が発生する場合にはご負担していただきます。

ビデオ紹介	
 <p>「見上げた青い空」 いじめの現実、本質を直視し、あらためていじめについて考えていただくきっかけになることを企図した作品です。</p>	 <p>「こころに咲く花」 いじめ・パワハラなど、日常生活の中でのいじめの現状を知り、その解決のために、他人や社会へ積極的に関わること考えます。</p>

人権学習会

人権啓発推進員が地域の皆さまのご要望により人権問題についての学習会を承ります。なお、ご相談により地域や職場にお伺いしての人権学習会も可能です。

また、「児童虐待」や「障害福祉」など個別課題について県の施策説明を希望される場合は、『長野県政出前講座』をご利用ください。

(<http://www.pref.nagano.jp/soumu/koho/demae/kagami.htm>)



長野県人権啓発センター

〒387-0007
 千曲市屋代字清水260-6 長野県立歴史館内
 TEL 026-274-2306
 FAX 026-274-2309
 ホームページ: <http://www.pref.nagano.jp/kikaku/danjo/center/center.htm>

- ◆開館時間
午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日
毎週月曜日(祝日、振替休日にあたる場合は火曜日)
祝日の翌日(日曜日にあたる場合は開館)
燻蒸(くんじょう)等センターが定める日
年末年始
- ◆入館料
無料
- ◆交通案内
しなの鉄道 屋代駅、屋代高校前駅から徒歩25分
長野電鉄屋代線 東屋代駅から徒歩20分
長野自動車道・上信越自動車道 更埴ICから車で5分